

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 9 月 1 日 (2016.9.1)

【公表番号】特表 2014-506900 (P2014-506900A)
 【公表日】平成 26 年 3 月 20 日 (2014.3.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-015
 【出願番号】特願 2013-555798 (P2013-555798)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/137 (2006.01)
 A 6 1 P 25/04 (2006.01)
 A 6 1 K 9/06 (2006.01)
 A 6 1 K 9/70 (2006.01)
 A 6 1 K 9/107 (2006.01)
 A 6 1 K 47/14 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/137
 A 6 1 P 25/04
 A 6 1 K 9/06
 A 6 1 K 9/70 4 0 1
 A 6 1 K 9/107
 A 6 1 K 47/14

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成 28 年 7 月 11 日 (2016.7.11)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 2 3 4
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【 0 2 3 4 】
 【表 9】

表 9：カンジダ・アルビカンスの微生物増殖

微生物カウント	プラセボ p H 8	タペンタドール p H 8	タペンタドール p H 3
細菌／真菌のスパイクされた量	2×10^5	1.7×10^5	2.4×10^5
30 分	2.5×10^5	$< \times 10^4$	2×10^5
7 日	3.4×10^6	$< \times 10^2$	1.3×10^3
14 日	試験せず ^a	$< \times 10^2$	1.8×10^3
28 日	試験せず ^a	$< \times 10^2$	2.5×10^3
試験基準 A	不合格	合格	不合格
試験基準 B	不合格	合格	不合格

追加の保存剤がない場合、タペンタドール溶液 p H 3 は、アスペルギルス・ニガーおよびカンジダ・アルビカンスに関しては欧州薬局方（基準 A および B）に従って十分に保存されないが、タペンタドール溶液 p H 8 は、試験を行った全ての細菌および真菌に対して基準 A および B を満たした。プラセボ p H 8 溶液は溶液自体の保存効果を示さないので、タペンタドール H C 1 を含む製剤の抗菌効果はタペンタドール H C 1 の添加された量の結果である。この結果を考慮すると、タペンタドール H C 1 溶液の保存効果の明白な p H 値依存性が示された。